



第71回 カンヌ国際映画祭 コンペティション作品

母
V
S
IS
アイエス

女に殺されると

天国へ行けない

バハールの涙



IS [アイエス]に拉致された

息子を助け出すため

最前線で戦うことを余儀なくされた

クルド人女性バハールの

生き様を描いた感動作。

【世界の美しい顔100人】4位に輝く

ゴルシフテ・ファラハニ主演最新作

『バターソン』『パイレーツ・オブ・カリビアン/最後の海賊』

bahar-movie.com



GOLSHIFTEH FARAHANI

A FILM BY EVA HUSSON

EMMANUELLE BERCOU

A MANEKI FILMS production. In cooperation with WILD BLANCH - ELLE DRIVER - ARDRES FILMS - GARIBOLDI FILMS - 30 STEPS PRODUCTIONS - RTBE (TELEVISION BELGE) - BORO CAGRE FILMS
PROXIMUS in association with ELLE DRIVER - BACKUP MEDIA - BDFILMS 6 - B MEDIA 20th - CINECAP - CINEART with the participation of CANAL+ - OCS - TAX SHELTER FROM THE FEDERAL BELGIAN GOVERNMENT CASA KAPKA PICTURES - BELFILM - LEFA, ENTERTAINER GEORGIA - FEDERATION WALLONNE BRUXELLES with the support of EURIMAGES - CENTRE NATIONAL DU CINEMA ET DE L'IMAGE ANIMEE - CENTRE DU CINEMA ET DE L'ANIMATION DE LA FEDERATION WALLONNE BRUXELLES - EUROPE CIVIL MEDIA PROGRAM OF THE EUROPEAN UNION - REGION WALLONNE ASPIRANTE - BRUGEA - LA SACEM with GOLSHIFTEH FARAHANI - EMANUELLE BERCOU
casting: MAHJIB EL AMRANI - editor: EMILE CHIRIN - original score: MORGAN KIBBY - line producer: CLARE THOUZET - location manager: LAURENTE LACOSTE - executive director: CYRIL PINAUX A.F.A. - company: CELE ROCOLLAGS - director of photography: MATTHIAS THIELSTADT DFP - art designer: DAVID BERSANI ITI
sound: OLIVIER LE VACON ALEXIS PLACE EMMANUEL DE BOISSEU - colour: LOREL KOPF - mix: ORIANE DE NEVE - postproduction supervision: PALME GILBERT and LAETITIA PICHON - producer: DIDIER DOMERH
coproduced by: BRAHIM CHIKHA - ADRIENNE FONTAINE TESSIER - ETHELNE COMAR - JOSEPH HOUSCHOVA - VLADIMIR KATCHANAVA - JIMAL ZHARAL DACH - DAN WICKLER - ANNETTE ZYLSBERG - international sales: ELLE DRIVER - written and directed by: EVA HUSSON





本作はイラクのクルド人自治区で2014年8月3日から2015年11月13日に起きた出来事に着想を得ている。8月3日の夜、IS【イスラミックステート】がイラク

北西部のシンジャル山岳地帯の村々に侵攻。シンジャル山脈という天然の要塞に守られ、ヤズディ教という独自の宗教への信仰を守り続ける人々が暮らす地域で、彼らの大量虐殺が奇襲攻撃の目的だった。24時間で50万人の市民が脱出。逃げおくれた人々は殺害されるか、拉致された。やがて、ヤズディ教徒、クルド人武装勢力、クルド自治区政府軍は、抵抗部隊を組織し始め、女性の戦闘員だけで構成された武装部隊も前線に立った。【女性に殺されたら天国へ行けない】と信じるイスラムの戦闘員は、彼女たちを恐れていた。



捕虜となった息子を助けるため、銃を取って立ち上がったクルド人女性と、片眼の戦場ジャーナリストの“真実”の物語



2018年ノーベル平和賞受賞者ナディア・ムラドが訴えるメッセージを実感する、自らの尊厳のためISと戦う女性たちの生き様に心打たれる感動作

主人公のバハールは、2018年ノーベル平和賞を受賞し、自らも性暴力の被害者として、女性たちの救済に尽力するシンジャル出身・ヤズディ教徒のナディア・ムラドと境遇を同じくし、ひるまず立ち上がりISと戦う彼女の生き様は、今もイラクやシリアで続く現実そのものであり、観る者の胸に響く。一方、女性ジャーナリストのマチルドは、片眼を失明しPTSDを患いながらも世界各地の紛争を報道し続けたメリー・コルヴィンと、ヘミングウェイの3番目の妻で従軍記者として活動したマーサ・ゲルホーンがモデルになっている。【世界で最も美しい顔100人】トップ10の常連で『バターソン』『バイレーツ・オブ・カリビアン/最後の海賊』の好演が記憶に新しい、ゴルシフテ・ファラハニと、カンヌ国際映画祭女優賞受賞歴のある演技派エマニュエル・ベルコが、大切なもののために信念をもって戦う女性と、真実を世界に伝える女性を体当たりで演じている。

STORY 女看護師のバハールは愛する夫と息子に恵まれ幸せに暮らしていたが、ある日、クルド人自治区の故郷の町でISの襲撃を受け、男性は皆殺されてしまう。数か月後、バハールは人質にとられた息子を取り戻すため、女性武装部隊【太陽の女たち】のリーダーとなり、最前線でISと戦う日々をおくっていた。同じく小さな娘と離れ、戦地で取材を続ける片眼の戦場記者マチルドの目を通し、再び我が子を抱きしめる日を夢見て、内戦を生き抜くバハールの姿が映し出されていく。

監督・脚本エヴァ・ワッソン『青い鼓動』 出演:ゴルシフテ・ファラハニ、エマニュエル・ベルコ
2018年 / フランス・ベルギー・ジョージア・スイス合作 / 111分 / カラー / スコープ
原題:Les filles du soleil(英題:Girls of the Sun)
© 2018 - Maneki Films - Wild Bunch - Arches Films - Gapbusters - 20 Steps Productions - RTBF (Télévision belge)
配給:コムストック・グループ+ツイン 配給協力:REGENTS bahar-movie.com

2019年 **1月19日(土)** 公開
特別鑑賞券1,500円(税込) 絶賛発売中!
劇場窓口でお買い求めの方に特製クリアファイルをプレゼント!
(限定数)

GIRLS
OF
THE SUN

新宿駅東口・伊勢丹メンズ館そば
新宿ピカデリー
050(6861)3011
www.smt-cinema.com/site/shinjuku/

銀座4丁目交差点 和光ウラ通り
シネスイッチ銀座
03(3561)0707 全席指定・入替制
www.cineswitch.com